

# 仙台・東北伝統工芸研修(2016. 5.25)

伝統的工芸品の仙臺箆笥とこけしについての研修を 25 名が参加して、歴史工芸館とカメイ美術館で行いました。 いずれも政府が指定した数少ない工芸品で、外国人には仙台・東北の生活文化として紹介したいものです。 仙臺箆笥は長谷部専務理事が、こけしについては青野学芸員が詳しく説明され、歴史・特徴と最新の動きを知ることが出来ました。



先ず、仙臺箆笥の歴史・特徴を説明される長谷部氏



神棚・仏壇と仙臺箆笥が生活に取り入れられていた



センサーを取り入れた最新の箆笥は自動で開閉。



青野学芸員が東北地方で発展・継承された歴史を紹介



様々なこけしが展示され、企画に応じて展示替えさてる。



こけしコーナー：他に蝶のコレクション、絵画が展示。

## 伝統的工芸品について

経済産業大臣が「伝統的工芸品」は全国で 222 件(2016 年現在)、宮城県では 4 件 (宮城伝統こけし、雄勝硯、鳴子漆器、仙台箆笥)、東北地方で 22 件が指定されている。